

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市榴岡図書館		
2 指定管理者	丸善雄松堂株式会社		
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度：93,711人団体〔個人：93,619人，団体・文庫：92団体〕（前年度比 84.8%） 令和元年度：110,495人団体〔個人：110,296人，団体・文庫：199団体〕（前年度比 102.1%） 平成30年度：108,175人団体〔個人：107,967人，団体・文庫：208団体）		
	《事業》 仙台市榴岡図書館の運営管理		
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 45,232千円 （45,232千円） ・ その他市が負担した費用 12,572千円 （12,349千円）		
	《収入》 ・ 使用料収入 千円 （ 千円） ・ その他収入 13千円 （ 35千円）		
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート 実施期間：令和2年12月10日（木）～23日（水） ・ 利用者懇談会 開催日：令和3年2月19日（金）		

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき運営管理されており、全館共通の業務や行事は適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況及び施設の開館状況は、仕様書のとおり適切である。指定管理料は適正に執行されている。個人情報保護の取り扱いや図書館情報システムのセキュリティ対策は、徹底している。事故防止チェックリストに基づき、事故や苦情等の事例を広瀬図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図っている。災害発生時の訓練は、適切に実施している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物、設備及び備品は適切に管理されており、毎日定時に館内を巡回し、事故・犯罪の未然防止に努めている。利用者から提供される紙袋を本の持ち帰り用に設置するなど、環境に配慮した取り組みもなされている。	17/17
IV サービスの質の向上	限られたスペースながら、書架の配置換えや利用者の目線でラックの表示や掲示物のデザインを新しくする等によりサービスの向上に努めている。研修を受講しやすい環境が整っており、遠隔研修等の各種研修へ積極的に参加し、参加者が研修成果を還元する報告も行われている。	27/27
V 施設固有の基準	ヤングアダルト世代(中高生)に向けた読書活動推進の事業としては、選書サポーターとして学生を募り、ともに選書・展示・広報誌づくりを行うなど、積極的な取り組みを継続的に行っている。また、広瀬図書館との連携により尚絅学院大学へ職員を派遣してワークショップを開催したり、生涯学習施設の事業研究として聖和学園短期大学の学生を多数受け入れた。東口ガイドボランティア宮城野さんぼみちと共同企画し「まちあるき歴史散歩 大正時代の地図とともにめぐる」を開催し、館内では関連資料の展示を行った。ハローワーク仙台より講師を招き、就労支援講座「きいてみよう！おしごとさがしのポイント」を開催するなど他の機関との連携を積極的に図っている。	18/16

三 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂株式会社）による自己評価》
<p>1.令和2年度は、前年度末から新型コロナウイルス感染症が拡大し、年度当初は各種自主事業の休止や臨時カウンターでの開館であったが、その中でも指定管理者として「基本方針」と「仙台市図書館振興計画（第二次）」に基づき、地域の教育機関、団体等との連携を促進し、利用者サービスの向上を図るとともに、地域に根ざし親しまれる図書館を目指して業務と自主事業を進めた。</p> <p>2.自主事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って一部実施を自粛したのものもあるが、まちあるき等開催できる事業を工夫した。その中でもSDGsに関する取組みとして、来館者へ関連資料を紹介（資料予約の推奨）する展示や、投票による意識調査を実施した。7月1日～8月30日に実施したアンケート「あなたの目標はどれ？」では一般書・児童書コーナー合わせて282票もの回答が集まった。次年度も引き続きSDGsの啓蒙活動を進めていきたい。</p> <p>3.利用実績は、利用者数／日（延べ人数）が36.4人減、貸出冊数／日が97.9冊減、返却冊数／日が99.8冊減だが、予約冊数／日は22.5点増となった。6月から翌1月にかけては特にスマホをはじめとした予約の利用が多く、併せて当館では視聴覚資料は未所蔵にも関わらず、貸出点数も伸びていた。これは視聴覚資料の貸出点数が増えたこととともに、前述したSDGs関連資料の紹介として視聴覚資料を中心に取扱ったことも一因であると考えている。</p> <p>4.教育研修は、遠隔研修の他、文部科学省の図書館地区別研修等に積極的に参加し、図書館ニーズの把握にも努めた。</p> <p>5.施設管理は、閉架書架の配置換えを行う等、限られたスペースでもより資料を活用しやすいように整えた。新型コロナウイルス感染症対策の一環として、席間の距離を取り、定時でアルコール消毒を行う体制とするとともに、定例おはなし会等については仙台市生涯学習支援センターと協力することで実施できた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和2年度は、地域団体との協働により「まち歩き歴史散歩」を開催して、仙台駅東口周辺に点在する文学碑を巡るまち歩きや関連資料の展示を行うなど幅広い層に図書館のPRを引き続き行った。ハローワーク仙台の職員を講師に招き、コロナ禍における求人情報の活用術等を紹介するほか、歴史民俗資料館や福沢市民センターと講師依頼や派遣を通じて、地域に根差した交流も深めた。</p> <p>また、読書離れが著しい中高生（ヤングアダルト世代）への読書推進を目的に、中高生の選書サポーターを募集し、サポーターによる図書館の選書・POP作成・書架の装飾・ブックリスト作成等の支援を行った。聖和学園短期大学、尚絅学院大学と講師派遣や職場体験受入などで連携を図り、図書館を担う専門職育成に貢献していることも高く評価できる。</p> <p>図書館内においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の措置として、臨時カウンターの設営、クリアボード、受付時の足元表示、座席数の調整、定期的な除菌等に取り組んだ。館内の配置の工夫、SDGsの啓蒙活動を継続的なテーマとして趣向を凝らした企画など、限られたスペースを最大限に活かして魅力的で快適な図書館づくりに努めた。また、視聴覚資料の未所蔵館でありながら、SDGs関連の視聴覚資料について一覧表にして供覧したことなどから、貸出点数が伸びている。</p> <p>今後も引き続き、民間のノウハウを活かした事業実施による図書館利用促進への取り組みを期待する。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館